

なる平成20年代前半までには事業着手していただくように、今後も引き続き県に強く要望していく。

急傾斜地への対応は

問 急傾斜地の危険箇所への対応はどのようなか。

答 毎年1回、県と市の担当者で点検を行っている。土砂災害のおそれのある区域についても周知を行っている。同時に急傾斜地崩壊危険箇所が危険区域に指定されるように、今後も県に要望していく。

喚田孝博（市政クラブ）

3検討委員会の報告にどのように取り組むのか

問 検討結果が報告されたが、今後の取り組みは、企業用地確保は、地元と協議中。生命の海科学館は、策定委員会で具体化を図っていく。東港は9月補正予算か交付金などを利用して整備したい。

答 今後、どのように取り組んでいくのか。



厳しい経営環境に直面する中小企業支援は

問 市独自の支援策は、どのようなものか。

答 商工会議所と連携し、市の出前講座から4講座を1日コースにまとめて3日間開催する。今後も対応していきたい。

名鉄存続に対する市民総ぐるみでの対応は

問 今後、どのように取り組んでいくのか。

答 「名鉄西尾・蒲郡線利用促進市民応援団」を9月下旬に発会したい。

小林優一（未来の会）

ユトリーナ蒲郡でのシニア利用券の導入は

問 高齢者の健康保持増進のため、無料もしくは割り引きで利用できるようなシニア利用券等を導入する考えはないか。

答 ユトリーナ蒲郡の利用は、介護予防などにもたいへん有効であると考えられる。しかし、料金を割り引くとなると、民業を圧迫する懸念もあり、運用方法や割り引きのあり方などを研究する必要があると考える。



ユトリーナ蒲郡

危険交差点への信号機の設置について

問 形原町の東中畑と田土山1号線の交わる交差点に、信号機を設置するための問題点は何か。また、最初から信号機を設置することはできなかったのか。

答 信号機の設置については、右左折等をする場合の角をとるための用地確保が問題となる。最初から信号機を設置することは、公安委員会が認めなかった。

来本健作（未来の会）

ウォーキング・サイクリングロードの整備を

問 蒲郡市の観光振興に、たいへん効果的と思われるウォーキングロードやサイクリングロードの整備状況は。

答 経済状況が厳しいので、新たにサイクリングロードを建設することは難しい。ハード事業よりもソフト事業を中心に、ウォーキングマップやサイクリング

西浦温泉



マップを作成し、蒲郡市を訪れる方に市内をゆっくり楽しんでもらいたい。

「赤ちゃんの駅」の設置について

問 子育て支援の取り組みの一環として、外出中の授乳、おむつがえ、ミルクのお湯の提供などで立ち寄ることのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録している自治体が全国に広がっている。この事業に取り組み考えはないか。

答 他市町の例を見ながら、研究させていただく。